

三河商人道

PART
215

マハロの家

松島 努 君



青年部とは
自分探しの場！



【会社・仕事への思い】

現在、リラクゼーションの業界で人々に癒しを与える仕事をしています。何故、新聞販売店を辞めてこの業界に入ったのか？よく聞かれます。そこには、私の父の影響が大きくあります。父は、若くして事故で手が不自由になりました。そんな父に小さい頃、よくマッサージをしてもらって癒されていたことが忘れられず、私もマッサージで癒しを与える仕事をしたいと思い、仕事に取り組んでいます。両親への思いも込めて父の命日に新聞販売店の関係を清算し、母の命日に「マハロの家」を開業しました。

【青年部に入会されたきっかけ】

元々新城市で新聞販売店を経営していましたが、岡崎の販売店で勤めることになり役員として入社しました。その際、青年部メンバーであったその会社の社長と入れ替わりで入会することになりました。

【思い出に残る青年部活動】

青年部活動で一番記憶に残っているのは、ジュニアエコノミーカレッジに携わったことです。元々「夢新聞」という子供の夢を新聞にするワークショップを開催していたこともあり、子供に夢を与えることに携わることが好きでした。そんな中、ジュニアエコは子供が自分でやりたいお店を考え、実際に商売をして会計までする。今後の未来につながる体験をさせてあげる。そんな事業に携わることができ、多くの子供の笑顔が溢れ、私にとっても本当にいい経験ができました。

【青年部とは・・・】

青年部とは、「自分探しの場！」

7年ほどの時間を青年部メンバーとして過ごしましたが、いろいろな年代の人、いろいろな業種の人と交流し、共に活動することで成長することができました。その間に得られたものを今後の人生でどのように活かしていくのか。そんな自分の生き方を考えさせてくれる会でした。



取材担当/
広報委員会
杉山宗利、池田憲孝